

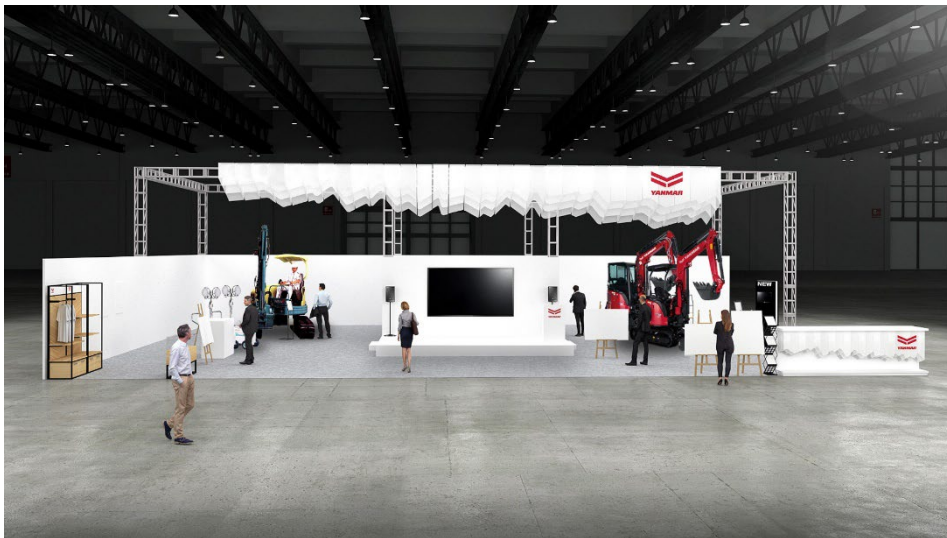


**YANMAR**

News Release

2024 年 5 月 17 日  
ヤンマーホールディングス株式会社

## 「第 6 回建設・測量生産性向上展」に出展



<ヤンマーブースイメージ>

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマー建機株式会社(以下、ヤンマーCE)は、2024 年 5 月 22 日(水)から 5 月 24 日(金)まで幕張メッセで開催される「第 6 回 建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO 2024)」に出展します。本展示会では、“ヤンマー建機とともに作る未来の現場”をテーマに、主力商品で5月に新発売した「ViO30/35」を初展示します。

1993 年に誕生したミニショベル ViO シリーズは、旋回時にも車体後部が車幅からはみ出さず、極めて狭い場所でも、ショベルが後方にある近くの建物、車両、または人との衝突を心配せずに作業できる安全性の高い設計です。このコンセプトは世界中に広く受け入れられ、ミニショベルのスタンダードとなっています。7 世代目となった今、歴代シリーズを経てデザイン・性能が洗練され、2023 年に発売された都市型油圧ショベル「ViO80-7」は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2023 年度グッドデザイン賞」を受賞しています。

この ViO シリーズ誕生 30 周年を記念し、屋内ブースでは、ViO シリーズ新商品に加え、初代「ViO40」を展示するほか、ViO シリーズ誕生の謎に迫る企画展示や、30 年に及ぶ歴史を堪能できる体験型展示を行います。また、本展示会では、大胆なりニューアルで話題となったヤン坊マー坊と写真撮影ができるフォトスタンドをはじめ、ミニチュア建機やオリジナルグッズを購入できるグッズショップ、SNS フォロー・投稿でプレゼントがもらえる参加型 SNS キャンペーン企画などを予定しています※1。

## ■主な展示内容

### ①屋内ブース

パートナー企業と協業し、通常届かない作業範囲までカバーすることができるアタッチメント「チルトローテータ」や、手軽な 2D から本格的な 3D の施工まで可能にする「マシンガイダンスシステム」を、「ViO30-7」「ViO35-7」に装着し展示し、生産性の向上や省人化など、お客さまにとって必要な価値提案を行います。

また、5月22日(水)と23日(木)の両日、当社社員によるプレゼンバトルを開催※1し、ブース来場者による投票で「みんなの欲しい商品」を決める企画を行います。商品を知り尽くした社員のプレゼンを通じて、お客さま一人一人の課題に合ったソリューション検討の機会を提供します。

### ②屋外展示ブース

「チルトローテータ」を搭載した「ViO80-7」への試乗が可能なほか、プロオペレータによる実演も予定しています。「ViO80-7」は、ヤンマーTNV エンジンの高出力化や右サイド&リアビューカメラの搭載などにより作業効率性と安全性を大幅に向上させた製品です。「チルトローテータ」との組み合わせで、作業効率のさらなる向上を体感いただけます。

## ■「第6回 建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO 2024)」概要

会期:2024年5月22日(水)~5月24日(金)

ブース番号:屋内 第3ホール 09-90、屋外 OD-08

会場・出展機:

会場	出展機
展示ホール 3(09-90)	初代「ViO40」(レストア機のため、販売は行っていません) 「ViO30-7」(杭ナビシヨベル 3D マシンガイダンス仕様) 「ViO35-7」(X04 チルトローテータ + Holfee 2D マシンガイダンス仕様)
屋外展示場(OD-08)	「ViO80-7」(X12 チルトローテータ + Earthworks 3D マシンガイダンス)



<「ViO35-7」>



<「ViO80-7」>

第6回 建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO 2024)公式サイト

<https://cspi-expo.com/>

※1 イベント詳細については、ヤンマーCE ウェブサイトの展示会・イベント情報にて事前にご案内予定です。

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHGフリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

---

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

ブランド部 コミュニケーション部 広報担当

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)